

SIDZEA
ISSN 0912-3016

滋賀医科大学雑誌

JOURNAL OF
SHIGA UNIVERSITY OF
MEDICAL SCIENCE

滋 賀 医 大 誌
J. Shiga Univ. Med. Sci.

Vol 4. 1989

滋賀医科大学雑誌投稿規程

(内容)

第1 本誌には、和文又は欧文の原著、総説、症例報告、CPC等を掲載する。

(投稿資格)

第2 投稿者は、滋賀医科大学に所属する研究者、又は編集委員会が認めた者とする。

(論文の受付)

第3 論文原稿は、編集委員会（滋賀医科大学附属図書館内）あて3部（オリジナル1部、コピー2部）提出する。編集委員長は、受付年月日を記した原稿受領書を投稿者に交付する。

(論文の受理)

第4 原稿は、別に定める「滋賀医科大学雑誌投稿手引」に従い、内容、体裁が整ったものでな

ければならない。投稿原稿の受理は、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

(校正)

第5 原稿の校正は、著者の責任において行う。内容及び組み版面積に影響を与える改変は許されない。

(掲載料)

第6 論文の掲載料と別刷り代は、全額著者の負担とする。

(依頼原稿)

第7 編集委員会が特に必要と認めたときは、本学内外に論文の寄稿を依頼し、本誌に掲載することができる。この場合、掲載料は徴収しない。

滋賀医科大学雑誌投稿手引

(目的)

第1 この手引は、「滋賀医科大学雑誌投稿規程」の定めるところにより、論文原稿の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(論文)

第2 論文は、原則として日本語、英語、ドイツ語、又はフランス語によるものとし、次の各号に掲げる点に留意して作成したものでなければならない。

- 1 論文は、和文では、A4判400字詰め横書き原稿用紙を用いたもの（ワードプロセッサ使用の場合は、A4判に30字×25行とする）、又欧文では、A4判のタイプ用紙にダブル・スペースでタイプしたものとする。
- 2 論文の記載順序は、①表題、②著者名（ローマ字表記を付ける）、③所属、④欄外見出し、

⑤原稿の枚数、図・表の数、⑥連絡先、⑦キーワード、⑧欧文抄録、⑨本文、⑩文献とし、①～⑦は表紙として1枚にまとめること。なお、欧文論文の場合には、更に和文抄録を付けること。

- 3 和文の表記は、原則として、「常用漢字表」（昭和56年内閣訓令第1号）、「送り仮名の付け方」（昭和48年内閣訓令第2号）、「現代仮名遣い」（昭和61年内閣訓令第3号）によるものとする。
- 4 医学用語は、日本医学会選定のものを用いること。
- 5 ラテン語の学名はイタリックで、日本語の動植物名は片仮名で書く。
- 6 略語は、国際的慣例に従い、単位及び単位記号は、国際単位系による（例：nm, μ m, μ g,

μ 1, Hz 等)。

- 7 外国人名は、原綴のままとする。国名等は、原字又は片仮名で書く。
- 8 本文中の引用は、その右肩に番号を付けるか、又は著者名と年号を記載する。後者の場合、著者が3名以上であるときは、第1著者名の後に“ら”又は“et al.”を付ける。

末尾文献表は、番号の場合は引用順、著者名の場合はアルファベット順とする。著者は略さず全員を掲げる。記載順序は、①著者名(発行年)、②論文表題、③雑誌名、④巻次、⑤始め—終わりページとする。雑誌名の省略は、“Index Medicus”及び『医学中央雑誌』の略名表によるものとする。単行本の場合は、①著者名(発行年)、②書名、③版次、④引用ページ、⑤発行所、⑥発行地とする。

記載例

King, S. J., Reilly, K., Dawes, J. & Miller, H. R. P. (1985) The presence in blood of both glycosaminoglycan and mucosal mast cell protease following systemic anaphylaxis in the rat. *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.* 76, 286—288.

Goldstein, A., Aronow, L. & Kalman, S. M. (1968) *Principles of Drug Action*. 343—428. Harper & Row, New York.

Gross, D. (1974) Pain and the autonomic nervous system. In “*Advances in Neurol-*

ogy, Vol. 4, Pain”, ed. by J. J. Bonica. 93—103. Raven Press, New York.

Fujita, H., Nakayama, N., Sawabe, T. and Kimura, K. (1970) In vivo distribution and inactivation of neocarzinostatin. *Jpn. J. Antibiot.* 23, 471—478 (in Japanese).

松井成一 (1976) 再生時の肥胖細胞の組織化学的研究. 京都府医大誌 85, 483—492.

梶川欽一郎 (1984) 結合組織 9—17. 金原出版, 東京.

- 9 本文、文献、抄録等、欧語はすべてタイプで記す。
- 10 図、表は、別に添付し、本文中には、図表が挿入されるべき位置を明示しておくこと。

(抄録)

第3 抄録は、次の各号に掲げる点に留意して作成すること。

- 1 抄録は、すべて英文とし、本文が欧文の場合は、和文抄録をも付ける。
- 2 和文抄録の記載順序は、①表題、②著者名、③所属、④抄録本文とする。
- 3 抄録の長さは、和文では800字以内、欧文では300語以内とする。

(掲載料の請求)

第4 掲載料は、論文受理決定の日から1か月以内に請求する。投稿者は、請求のあった日から2週間以内に、全額を納入しなければならない。

滋賀医科大学雑誌
第4巻 平成元年5月

発行 滋賀医科大学雑誌刊行会
大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学附属図書館内
電話 0775-48-2077

編集 滋賀医科大学雑誌編集委員会
編集委員長 上 田 潔
編集委員 越 智 幸 男
北 原 正 章
木之下 正 彦
木 村 宏
神 館 義 朗
龍 野 嘉 紹
土井田 幸 郎
横 田 敏 勝
(五十音順)

印刷 株式会社 日興商会滋賀支店
滋賀県栗太郡栗東町
安養寺8丁目7番13号
電話 0775-53-9311

滋賀医科大学雑誌

第 4 巻
平成元年 5 月

総 説

Epidemiological Study of Rheumatic Diseases in Japan Kanji SHICHIKAWA, Yoshitaka TAKENAKA, Koji INOUE, Munezo KASHIWADE, Hiroshi OTA, Akira MAYEDA, Masaki TSUJIMOTO, Ichiro HONGO, Shigenaga HIROTA, Michihito ISHIZAWA, Jun SAITO, Atushi IWASAKI, Yasuhiro KOMIYA, Hirotsugu MIYAMOTO and Minoru NISHINO	1
--	---

原 著

四肢末梢動脈瘤症例の検討 田畑良宏, 渡田正二, 尾上雅彦, 白石昭一郎, 森 渥視, 浅島周造, 村上元庸, 西岡淳一 福田眞輔, 佐井義和, 矢作直樹, 松本富吉, 天方義邦	15
Proliferation and Pinocytosis of Cultured Aortic Endothelial Cells from Hypertensive Rats Yoneko HAYASE, Masakiyo SASAHARA, Jun KAWAI and Fumitada HAZAMA	25
Inhibition of Proliferation by High pH in HeLa Cells and Partial Accumulation of Cells in S-phase Hiroshi KIMURA, Arata ISHII and Takashi AOYAMA	37
An Attempt to Examine the Effect of Prostaglandin E ₂ and Bradykinin on Substance P Containing Neurons in Grafts of DRG from Chick Embryos Kikuko IMAMOTO, Eric Philippe, Françoise Vesin and Bernard Droz	47
肝静脈血流速度波形から見た心機能評価: 超音波パルスドップラー法による検討 迫田 悟	55
Effects of Caffeine on the Shoulder in UV Dose-Survival Curves and the Sublethal Damage Repair in Cultured Mammalian Cells Makoto IKEBUCHI, Kunio MORIMOTO, Akihiro SHIMA and Takashi AOYAMA	73
フェノバルビタール療法が有効であった肝内胆汁うっ滞症の治療経験 国貞隆信, 藤村昌樹, 山本 明, 平野正満, 森 渥視, 泉谷 守	89
イヌ摘出血管に対するジチオスレイトールの作用 藤岡秀行	99
INFORMATION FLOW OF EEG WITH ALPHA ACTIVITIES IN CHILDREN Akira ONAGA	111
全身循環停止を伴う超低体温下拍動流体外循環の脳組織に及ぼす影響 尾上雅彦	121
The Effect of a Multi-color VDT-screen on the Eyes Stefan GYR and Katsuo NISHIYAMA	135
体外衝撃波結石破碎療法 ——衝撃波発生装置の現況と胆石症への臨床応用について—— 森河内豊, 藤村昌樹, 佐藤 功, 谷口仁章, 山本 明, 森 渥視, 小山茂樹, 細田四郎 坂本 力, 木村 稔, 小倉伸一, 小西 平, 福本圭志	143
Concomitant change in the expression of allelic allotypes in specific antibodies and bulk immunoglobulins in rabbits Ning FU and Akira SETO	153
抄 録 滋賀医大シンポジウム 第 2 回—第 5 回	163